

四国大学（１） 小中高生向けの金融教育のあり方を考える

1 目 的

今、教育現場では、金融教育として、どんなことを教えているのでしょうか？一言で言えば、「個人が、自分を守り、自分が得をするために、金融とどう付き合うか」を教えます（視点は“個人の私益”です）。勿論、これは重要な視点です。しかし、残念ながら、現行の金融教育では踏み込めていない視点があります。それは「社会が、社会を守り、社会が得をするため、金融とどう付き合うか」という視点です（“社会の公益”という視点です）。そうすると何が起きるのでしょうか？ 私益を優先し、社会公益を忘れた人間が増え、困ったことが起きてしまいます。例えば、1990年のバブル崩壊や、2008年のリーマンショックという事件をご記憶でしょうか。金融業務に携わる人々が規律意識を失い、自らの儲けの道具として金融を使ってしまい、最後は社会を壊す経済事件が起きてしまうのです（日本や世界に不況をもたらし、大量の失業者に加え、相当の自殺者を生みました）。今後、こうした災害を再発させないため、我々は金融をどう学ぶ必要があるのでしょうか。それは、私益だけでなく、公益にも軸を置く金融教育が求められると思います。教訓的に言えば、社会の一人一人が「金融を使ううえで、倫理観や規律意識を持つことが不可欠」（日常生活で言えば、お酒と上手に付き合うには自己規律が不可欠）という当たり前の常識を教える必要があるといえます。研修ではこうした視点から、金融の功罪について参加される先生方と共有した上で、今後のより良い金融教育のあり方を考える機会にしたいと思います。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目Ⅴ－推進項目15－㊸教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

- 素養「A 使命感・倫理観」
- 授業力・学習指導「B 授業構想力」
- 担任力・生徒指導「D 未来ビジョン育成力」

2 主 催

四国大学、徳島県教育委員会

3 期 日

令和7年7月30日（水）

4 受付及び会場

四国大学 B館 1階 108号室

5 対象者

- (1) 職種 教職員
- (2) 校種 幼保・小・中・高・中等・特
- (3) 定員 15名

6 内 容

- (1) 自らの生活を守る視点（私益の擁護）から金融を考える。
- (2) 世の中を守る視点（公益の擁護）から金融を考える。
- (3) 多面的な角度から物ごとを捉える視点の重要性を考える。

7 講 師

四国大学 経営情報学部 教授 臼井 正樹

《裏面に続く》

8 日 程

9 : 3 0 ~ 9 : 5 0 受付 (B 館 1 階 1 0 8 号室)

9 : 5 0 ~ 1 0 : 0 0 開式、イントロダクション

1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0 講義・議論

1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0 休憩

1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 5 0 講義・議論

※講義を軸に説明を展開した上で、考察時間を設けて、参加者で議論しながら、考え方を掘り下げていきます。

1 5 : 5 0 ~ 1 6 : 0 0 リフレクション、閉会

9 準備物等

筆記用具等 (署名ができるボールペン等を準備してください。)

1 0 その他

- (1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職 (緊急の場合は本人) が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト (令和7年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照) からダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】徳島県立総合教育センター教職員研修課

kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】徳島県教育委員会体育健康安全課

taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp (県立校からJoruriメールでの送信時に使用)

taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp (上記以外に使用)

【幼稚園教諭、保育教諭】徳島県教育委員会義務教育課

gimukyouiku_1@g.tokushima-ec.ed.jp

※公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園は、所管の市町教育委員会又は児童福祉担当部局へもメール) に添付して提出してください。

- (2) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(1)の手順に従ってください。
- (3) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。5月～10月に実施する研修についてはエコスタイル (夏はノー上着・ノーネクタイ等) で結構です。
- (4) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域 (四国大学の場合は「徳島市」地域) に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。
- (5) 昼食については、学内食堂が営業中で、どなたでも利用可能です。近辺のコンビニエンスストア等も利用可能です。
- (6) 車は、南側の正門から入ってすぐに右折し、東側の駐車場 (ゲートの無い、無舗装のグラウンド) または東側学生駐車場に駐めてください。
- (7) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 指導主事 宮城 久子 088-672-6419